

歴史—社会—個人をつなぐ対人援助を目指して

在日コリアンに対する心理臨床実践から

Let's think about human services that connect history, society and the individual: insights from the clinical psychological practice for Korean-Japanese minorities.

朴希沙（立命館大学人間科学研究科後期博士課程、在日コリアンカウンセリング&コミュニティセンターカウンセラー）、丸一俊介（在日コリアンカウンセリング&コミュニティセンター長、障害福祉サービス事業所ほっとハウス所長）

Kisa Park(Counseling and Community Center for Korean-Japanese minorities, Graduate School of Human Science, Ritsumeikan University), Shunsuke Maruichi(Counseling and Community Center for Korean-Japanese minorities)

Key words: 心理社会的支援, 歴史的トラウマ, 在日コリアン

背景

世界のグローバリゼーション、という言葉が使われるようになって久しい。しかし、「多文化共生」という言葉が使われるようになるのは以前より、日本には様々なルーツを持つ人々が暮らしてきた。本ワークショップでは、中でも植民地支配を背景に日本に移り住んだ朝鮮の人々をルーツにもつ、在日コリアンに着目する。

過酷な植民地支配の歴史は土地や文化、人々に破壊的な影響をもたらす。歴史的トラウマに関する研究や議論は、過去の過酷な出来事が世代を超えて現代にもたらす影響があることを教えてくれる。さらに、「過去の歴史」は、現在と地続きである。例えば形を変えながら現代に続く差別は、過去が「過去」になっていないことを人々に教える「リマインダー」でもある(Mohatt, 2014)。

差別は、心身に様々なネガティブな影響を与えることが知られている (Schouler- Ocaik & Moran, 2023)。しかし、これまで日本の心理臨床や精神医療の世界では、少数の実践家を除き差別や歴史的トラウマが在日コリアンに与える影響について十分な考慮を行ってきたとは言いがたい (金, 2017)。そのため、在日コリアンが抱える心理社会的苦悩は時に過度に個別化・心理化される傾向にあった。一方、社会運動や民族運動の現場では、個人的な悩みや苦悩を支援という枠組みで取り扱うことは難しかった。

このような背景から、発表者たちは 2020 年、京都にて在日コリアンのためのカウンセリング機関である在日コリアンカウンセリング&コミュニティセンター(以下、ZAC) を設立した。

ワークショップの目的と内容

本ワークショップでは、対人援助において「人」を理解する際に、歴史—社会—個人をつなぎ、統合的な視点を持つとはどのようなことかを参加者と共に探っていくことを目的とする。そのために、ZAC での臨床実践を取り上げる。在日コリアンのための心理臨床においては、個人的・心理的側面だけでなく歴史的社会的背景を統合

的に理解することが重要になる。しかし、個人的側面と歴史的社会的側面には、どちらかにスポットを当てればどちらかが見えづらくなるという緊張関係が存在すると発表者たちは考えている。そのような背景の中で歴史—社会—個人をつなぐ対人援助として ZAC ではどのような心理臨床が模索されているのかを提示する。

具体的には、以下のようにワークショップを進行する予定である。最初に、発表者より ZAC での実践と事例を紹介する。その後、参加者にグループになってもらい、発表者の発表に対する感想や日々の対人援助実践の中で意識していること、日々の実践を歴史—社会—個人をつなぐ視点で見直すと見えてくることなどを自由にディスカッションしてもらう。その後、全体でグループディスカッションの内容を共有し、歴史—社会—個人をつなぐ対人援助のために何が必要なのかを考える。またその際には、発表者から米国における多文化カウンセリングにおいて重視されている（マジョリティ）特権やマイクロアグレッションといった概念についても紹介し、援助職者に求められる内省的な視点についても共に考えていきたい。なお、本ワークショップで紹介する事例は、ZAC における実際の事例を参考に作成した架空事例を用いることを予定している。

参考文献

- Mohatt, N. V., Thompson, A. B., Thai, N. D., & Tebes, J. K. (2014). Historical trauma as public narrative: A conceptual review of how history impacts present-day health. *Social Science and Medicine*, 106 : 128–136.
- Meryam S. O., James K. M. (2023). Racial discrimination and its impact on mental health. *International Review of Psychiatry*, 35(3-4) : 268-276.
- 金泰泳(2017). 『在日コリアンと精神障害—ライフヒストリーと社会環境の要因』, 晃洋書房.